

目次

創刊にあたって 会長 嶋野道弘……………2

一年生って、こんなに成長するんだね

【解説】 学校探検における気付きの質が変わる
海老澤由美……………6
若手 三喜雄……………20

自分のあり様を考える子どもを育てる生活科学習

【解説】 「子ども発・子ども着」の新機軸の生活
江島孝浩……………22
科実践 新富康央……………36

明日へ渡れ！新矢口渡プロジェクト

【解説】 「明日へ渡れ！新矢口渡プロジェクト」
中村泰之……………86
を読んで 北村文夫……………100

生徒の興味を生かした環境保護への取り組み

「In Action」〜ふるさと伯方から〜
棚橋絵里子……………102
【解説】 「気づく、考える、実践する」で取り組
んだ中学三年生の環境学習
寺尾慎一……………116

発刊のねらい……………118

生活科で子どもたちの社会性を育む

【解説】 生活科で育まれる温かい学級の育ち
森仁美……………38
松本謙一……………52

生活科と総合的な学習をつなぐ食育関連活動

【解説】 大人をも動かす食育の「鍵」は、子ども
にとつて魅力ある単元構成・展開の工夫
鈴木一恵……………54
石井智子……………68

合い言葉は、「レベルアップ」

TSUKEMON QUEST 三年生の漬物物語
鈴木康史……………70
【解説】 鈴木実践「三年生の漬物物語」から学習
の成立を学ぶ
田村学……………84

応募・執筆要領……………119

編集後記……………120

編集後記

このたび、念願の『生活科・総合の実践ブックレット』創刊号を発行することができました。推薦していたいただいた理事の皆様をはじめ、応募して下さった実践者の皆様、そして応募実践を審議して下さった理事の皆様、改めて感謝申し上げます。今日、「学力低下」を巡る論議の中で、それがまるで生活科や総合的な学習のせいであるかのような論調が聞こえてくる場合があります。しかし、断じてそうではありません。生活科や総合的な学習がひらく「新しい学び」にこそ、人間力を高め、教科でする学びと相まって次世代学力を力強く育成するパワーが潜んでいるのです。このブックレットを通して、そのことを真摯に取り組まれた実践者の姿勢とともに広く確認できればと願う次第です。

実践者からは、力のこもった実践を応募していただき、他方、それを審議して下さいました理事の皆様からは、厳しくも温かいコメントをいただきました。それらを受けて二度、三度と書き直しが行われ、創刊号が出来上がりました。推薦者による見所の紹介、さらなる課題や展望についての解説と併せてお読みいただければ、それぞれの実践の意義がより深く理解されると思います。

創刊号には、「生きる力・人間力を高める生活科・総合」の特集名を付け、嶋野会長より、巻頭でその意義を語っていただきました。次号からも、時機を得た特集名を付けて発行して参ります。

このブックレットは、会員ほか一般の方々にも頒布いたします。学会支部における会員の勧誘、校内研修や大学での演習テキスト、あるいは保護者懇談会などの席上での紹介冊子として、ご活用ください。（日本生活科・総合的学習教育学会 研究企画部長 寺尾慎一）

生活科・総合の実践ブックレット 創刊号
平成十九年五月三十一日 発行
平成十九年七月二十五日 第二刷
発行者 日本生活科・総合的学習教育学会
会長 嶋野道弘
事務局 千四八八―八五四二
愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢一
愛知教育大学生活科教育講座内
電話・FAX 〇五六六―二六一
二七二三・二二七九・二二六一
印刷所 総合印刷 よしみ工業株式会社
住所 千八〇四―〇〇九四 北九州市
戸畑区天神一丁目一三―一五
電話 〇九三―八八二―二六六一

価額 五百円(税込)